

【放デイ】事業者向け	事業所名	わたぼうし
	アンケート実施期間	令和 5年 11月1日から令和 5年 12月 8日まで
	配布数	4枚(回収率 100%)

		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・活動に応じて複数の部屋を活用し、少人数のグループで実施できるようにしています。	・パーティションや個別の机等を用いて、活動内容や特性に合わせた環境の構造化をできるように努めます。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			・定員に対する基準人数を配置しています。	・各職員が支援者としてのスキルを向上できるよう情報の共有をし、外部からのアドバイスなどを真摯に受け止め、支援能力の向上に努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	1	・構造上バリアフリー化がなされていない箇所もありますが、階段などの段差の大きな場所は、職員と一緒に行動するようにしています。	・身体的な理由などから対応が必要な児童の受け入れをする際には、必要に応じた設備の見直しを実施します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・その日に実施する支援内容の確認及び活動終了後には振り返りを実施し、改善に努めています。	・改善すべき点が見られた場合は、その日のうちに共有をし、早急な改善が出来るよう努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・いただいたご意見は職員間で共有し、改善に努めています。	・調査結果を業務に反映出来るよう、頂いたご意見をもとに改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・年に一度、アンケートによる事業所評価を実施し、ホームページに掲載しています。	・掲載ページのURLを通信などの配布物に記載し、広く周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4		・現段階では実施していませんが、今後実施を予定しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・支援の質の向上のため、各種研修を実施しています。また、受講後は報告書を作成し、実践すべき内容を明確に出来るように努めています。	・今後も各種研修等を実施し、支援に反映させることが出来るように受講していきます。また、事例検討等も定期的の実施していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・日々の活動におけるアセスメントを踏まえ、計画の作成を行っています。面談時、保護者に内容をご確認頂き、必要に応じて変更、追加等を行っています。	・適切なアセスメントをとることが出来るように、ツールの導入とそれらを踏まえた保護者へのアドバイスを行って行きます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			情報理解・基本スキルアセスメントシートを用いて特性を判断し、課題の設定や取り組みの説明に反映させています。	社会能力検査に関するアセスメントも実施し、ソーシャルスキルの判断と取り組み内容への反映を行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・活動内容に関する企画書を作成し、実施方法や各取り組みの目標、児童の課題などを共有しています。	・より詳細な部分まで想定し、取り組み内容を具体的なものにしていけるようチームで実践していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			同じ内容が連続することの無いよう、常に活動内容に変化を付けながら実施しています。	・児童によっては活動の目的が固定化されているプログラムもあります。複数の目標がある事を踏まえいずれの目標も達成していけるように子ども達の発達に合わせて内容を検討し、変えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・提供時間に合わせて、活動内容を変更しています。メイン活動の他に、自由遊びでも工作やボードゲーム等を設定し、取り組んでいます。	・長期休みについては特に、活動時間を活かしてより充実した活動を実施出来るように内容の検討をしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・同じ内容でも、各児童の目標に合わせて手順や進め方を変え、参加しやすくなるようにしています。	・各児童の課題や特性により深く着目し、柔軟な活動設定を行えるよう努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・活動前に、その日の流れや役割の確認を行っています。疑問や変更点があれば、解消しています。	・役割分担には不明確な点もあるため、打ち合わせの段階でより詳細に決定していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・支援後に振り返りを行っています。その日の流れが適切だったか、子ども達に合った活動だったかを話し合っています。	・話し合い、共有したことをいつでも確認できるよう記録し、継続していけるよう努めています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		・記録で不明確な部分があれば、その場で職員同士で相談し正しく書けるようにしています。	・正確な情報を記入できるよう、職員間で共有し、記入します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・年2回、モニタリングを行い計画の見直しを行っています。	・日頃から計画の内容を踏まえ、活動に取り入れていけるように確認を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4			・活動や取り組みのほか、放課後等デイサービス計画の項目としても基本活動を取り入れ、実施しています。	・活動を通して、より多くの基本活動を実施、達成していけるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・児発管が適宜会議等に参加し、支援方法に関する情報共有を実施しています。	・会議等で決定した内容を各職員が実行していけるよう、情報共有に努めます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・各学校の年間予定等を確認し、時間の確認を行っています。また、学校行事により通常とスケジュールが異なる場合には、学校、保護者と情報共有をした上でご利用いただけるように心がけています。	・年間行事予定から変更された予定の把握が不十分な場合があります。学校との調整や情報共有を丁寧に行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	2		・現在、医療的ケアが必要な児童はいません。受け入れる際は、適切な連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			・新規入所をする児童は、幼稚園、保育園などに訪問をさせていただき、事前にアセスメントを行うようにしています。	・今後も新規に利用する児童に対して、保育所への見学やアセスメントを実施していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1			小学生対象のため、直接障害福祉サービスへの移行はありませんが、中高生対象のデイサービス等を利用する場合にも情報の提供を心掛けていきます。また、年度途中で別の事業所へ移行する場合なども必要に応じた情報共有等を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			・各研修に参加しています。また、自主的に研修を受ける職員もあり、支援のために学んでいます。	支援の中で気付きや保護者からの相談事など、適宜連絡を取り合いながら対応の統一、調整ができるよう、連携を密にしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2		コロナ禍以降、外部との交流活動が実施できていないのが現状です。法人内の学童保育所との遊びを行うことから始め、一緒に取り組んでいけるプログラムや体制を整えていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3		事業所単位では現在参加をしていません。	協議会主催の研修等を通して、関わるようになっていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		送迎の対応時や、計画相談会での面談を通して、児童の様子や課題について伺っています。	活動の様子や課題の達成状況を不備なく伝達できるよう、分かりやすい説明を心掛けていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2		現在、ペアレント・トレーニングを行っています。ご要望に応じて、内容の検討、実施をしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に、児童発達支援管理責任者が説明を行っています。また、利用者負担等について変更がある際は、書面を用意し、その都度説明をしています。	保護者の方が理解しやすい説明、書面の作成に努めます。また、変更点があった場合には早急に伝達し、周知を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		連絡帳等を通し、ご質問、相談を頂く場合があります。作業療法士とも連携し、お答えできるよう努めています。	各職員が保護者の相談に適宜応じ、正確な情報をお伝えすることができるよう、研修等を通してスキルの向上に努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2		現在、父母会や保護者会等はありません。保護者同士が顔の分かる関係でありたいのご意見をいただいております。これらの意見を踏まえ、保護者同士が交流できる行事、イベントなどを検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情についての体制は、重要事項説明書にてお知らせしています。苦情があった際には、迅速に対応できるようにしていきます。	苦情等があった際には、貴重なご意見として状況の見直しを行い、再発防止に努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			定期的に通信を発行しています。各取組のねらいや、内容について詳しくお知らせしています。	活動内容や支援に当たる職員に関してより明確に分かりやすくなるよう、構成を随時検討していきます。

	35	個人情報に十分注意しているか	3	1		契約時に、個人情報の取り扱いに関する同意を頂いています。また、メールを送信する際は、BCCにて行い、他の方にアドレスが分からないようにしています。	その他、写真の掲載や、外部への情報提供が必要な場合には、必ず同意の元を実施していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			アセスメントを実施し、必要に応じたツール等を活用しています。	今後もアセスメントを継続し、新規入所児童など、それぞれに合わせたツール、方法を導入していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4			季節の行事への招待など、徐々に以前の状態に戻し、近隣の方にもお声掛けができるよう実施方法の見直しを行っていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		マニュアルをもとに、対応方法を職員で共有しています。感染拡大時の対応について、変更点などがある場合は随時知らせをしています。	緊急時の対応について、保護者に十分周知されていない点がありました。通信への掲載や、書面でのご案内等、保護者のご理解いただける形で周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			地震、火災、防犯等の訓練を実施しています。なるべくすべての子ども達が避難訓練に参加できるよう、各曜日で行うようにしています。	安全計画を作成し、災害発生時のより詳細な役割分担や対応方法を策定、共有していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			毎年虐待防止に関する研修を行っています。また、毎月虐待に繋がる行動がないか、チェックリストで振り返り、共有をする時間を設けています。	小さなことでも共有することを心掛け、虐待の芽を摘んでいくことでチェックリストの項目を繰り返す事が無いよう努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			どのような場合に身体拘束が必要か、また、どのような行動が身体拘束に当たるのかを職員間で確認、共有し、決定しています。放課後等デイサービス計画に、記載し説明させていただいています。	身体拘束が必要な場面を可能な限り減らしていけるよう努めていきます。また、やむを得ず身体拘束があった場合は、今後同じ状況が発生しないよう対応方法を検討、共有し、支援記録に明記していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	1	食物アレルギーに関する医師の指示書が出ている児童は現在いません。	重大なアレルギーがある児童は、必ず指示書をいただき、アレルゲン物質を摂食しないように気を付けていきます。保護者の方から、食物アレルギーについて伺い、気を付ける食品がある児童は、その食品を食べないようにおやつ等の提供をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットを作成、ファイリングし、確認できるようにしています。また、職員間及び事業所間でも共有し、内容の確認を行っています。	情報共有を定期的に行い、再発防止に努めていきます。